

■特集 2008年度の主な取り組み

芝共立ITCの設立 薬学部における情報環境

■芝共立ITC所長 鈴木 岳之

2008年4月に慶應義塾大学と共立薬科大学が合併し、慶應義塾大学薬学部が生まれました。これにより、慶應義塾大学は総合大学として新たな一歩を踏み出したといえます。

ここでは、共立薬科大学から慶應義塾大学薬学部への移行に伴う芝共立ITCの設立と、薬学部の情報環境に関して記させていただきます。

単科の薬科大学であった共立薬科大学ではIT、ネットワーク管理と図書館業務を行う「総合情報センター」という組織が存在し、学内での情報環境の構築・維持に当たっていました。医療系の大学ということもあり、ネットワークに関してはかなりセキュリティーを上げた形で構築しておりました。

小さな大学であったため、ITの専門家（特に事務系）がいないため、教員が中心となってネットワーク管理を行ってきておりました。

慶應義塾大学と共立薬科大学との合併が発表されてから、さまざまな合併のための作業が生じましたが、その中でももっとも大きな変更が必要となったのが情報関連の統合作業でした。合併の約1年前から全学的にさまざまな統合のための委員会が立ち上がり、情報関連もITC本部と共立薬科大学総合情報センターとが中心となり合併のための情報部会を設置いたしました。

慶應義塾のネットワークを薬学部へ引く、ということだけは決まっていたのですが、その具体的な仕様に関しては全く初めからの設計となりました。

学校法人間の合併という、これまでに例のない事態のため、技術的な問題に加えてドメインに関する問題もでてきました。つまり、原則として薬学部は3月31日以前は慶應のドメインを使用することは出来ず、また、4月1日以降は旧共立薬科大学のドメインは



マルチメディアPC室 (MMPC室)

使用しない、ということになります。

そのため、すべての作業を平成20年3月末～4月はじめを目処に計画しました。

共立薬科大学のネットワークシステムを稼働させながら、慶應義塾の新しいネットワークを構築する、という作業を行うことになったわけですが、単純に考えてもネットワーク機器が2倍必要となるわけで、それだけの収納スペースもありません。

ネットワークの配線も従来のもを使用しますので、前もっての切り替えも出来ません。

このような状況の中で、以前とは全く異なる、慶應義塾薬学部の情報ネットワークを設計しました。

そして、4月1日に慶應義塾大学薬学部が立ち上がり、同時に芝共立ITCも設立されました。

ただ、そのような感慨に浸る暇など全くなく、ITC本部の協力も受けながら作業を進め、なんとか4月はじめに慶應義塾ネットワークへの移行を行いました。

しかし、4月1日にすべてのネットワークの切り替えを行う、ということのはじめから無理だろうとは予想していました。これは、実際にシステムの切り替えが単純な機械的作業によるものだけではなく、薬学部ネットワークに接続されているすべてのネットワーク機器の設定変更を必要としており、それは実際には手作業で行う必要であったからです。

メールアドレスも全て変更しなくてはなりませんでしたが、共立薬科大学のアドレスもすぐに削除するわけにも行かないことは明らかです。ITC本部との検討の結果、当面の間は旧アドレスも受けられる体制をとりました（実際に共立薬科アドレスを停止したのは約半年後でした）。

さらに、予想もしていなかった事態が起きました。合併にご尽力された共立薬科大学理事長で、慶應義塾常任理事に就任された橋本嘉幸先生が4月1日という合併の朝にご逝去されたのです。

このように、本当に普通ではありえないような事態が重なった2008年4月でしたが、関係各位の多大なる努力により、薬学部に慶應義塾ネットワークが設定されました。

深夜に及ぶ打ち合わせや会議、休み返上での作業など、日本初といえる「大学合併」に伴う情報環境の統合という前例のない作業に携わっていただいた関係各位に改めて感謝いたします。

2008年に芝共立ITCが行ったもう一つの大きな事業は、薬学部マルチメディアPC室（略称MMPC室）のPCのリプレースです。2009年度から薬学部でも4年次に共用試験の一つとしてCBT（Computer Based Testing）が実施されます。これに合格しないと、薬学部学生は5年時以降に行われる実務実習（病院、薬局などで行われる臨



マルチメディアPC室（MMPC室）

床実習)にいくことが出来ません。そのCBT試験も見据えてのリプレースとなりました。この段階で学生が新規購入するPCがWindows Vista機であろうということから、導入OSはWindows Vistaとしました。この段階で、他のキャンパスのITCではVista機の導入はほとんど行われていませんでした。せっかく新しい学部で新しい環境なのだから、Vistaでいこう、と私の決断でゴーサインを出しました。(実は、このあとXPにしておけばよかったのに~と思ったことが多々あったのですが。。。)筐体メーカーのトラブルや、ソフトの動作が実はVistaでは確認が取れていなかった、などここでもさまざまなトラブルが生じましたが、こども皆様のご協力により何とか切り抜けることが出来ました。

現状の芝共立キャンパスのIT環境としては、学生用共用PCが約100台MMPC室に常時設置されています。ただし、講義などでの使用がかなりありますので、更なるIT環境の改善を検討しております。

また、現在無線LAN接続はPC登録が必要となっています。他キャンパスなどからPCをネットワークへ接続希望される場合には芝共立ITCへお申し出ください。

嵐のようだった2008年を何とか乗り切れたのも、薬学部の教員、事務の皆様のご協力、本部や各地区のITCの方のご協力があったからこそでした。

2009年3月に新たな事務室に移り、ようやく落ち着いた活動が出来るようになった芝共立ITCを今後ともよろしく願いいたします。